

Road to the Kira Kira Nurse

“キラキラナース”への道



すすめ、私。

看護師・助産師 募集案内パンフレット
JCHO 徳山中央病院

マンツーマンだから心強い！ プリセプターシップ

／ プリセプターシップとは… ／

プリセプターシップとは、プリセプター（先輩看護師）がプリセプティ（新人看護師）にマンツーマンで関わり、一定期間、プリセプティの指導・育成を行う教育方法です。当院では、職場での対応力やメンタル面をサポートすることを重要視しており、看護能力と自立性を身につけられるように、入職から1年間、担当のプリセプターが支援します。



プリセプター
なか はら とも え
仲原 智絵
(入職22年目)

プリセプターをするにはいささか年齢が離れているため、プリセプティが気後れするかもしれないと考えて、日頃から積極的にコミュニケーションをとるように心がけました。また、相手がどのように考えているのかを理解するために、よく聴き、叱らず、アドバイスをを行い、できていることはきちんと褒めるように努めています。

病院全体で 成長を支援

新人の目印はこのバッジ。このバッジのおかげで周りと良好な関係を築くことができます。



入職して一年。病棟チームの一員としての役割を果たすために、自分のことだけでなく、周りの状況も見ながら動けるように頑張っています。また、循環器内科の看護師として、心電図の読み取りや疾患の知識も増やせるようにコツコツ学んでいます。私が大切にしているのは、患者さんの心に寄り添い、思いやりを持って看護をすることです。そのために豊富な知識や適切な技術を身に付けて、臨機応変に対応できるようにになりたいと思っています。

まだわからないことが多い中、頼れる先輩として心強いのがプリセプターの存在です。経験の浅い技術等において優しく指導して下さったり、未経験の技術を一緒に確認して下さったり。細やかにサポートして下さるので、とてもありがたいです。勤務ががぶらない日も、すれ違ったときに笑顔で話しかけられるので、安心して働くことができます。これからも患者さんの心に寄り添い、安心・安全で適切な看護技術を提供し続けたいと思います。

KIRAKIRA NURSE 01

循環器内科・心臓血管外科
(東館7階病棟) 入職1年目

ふじ もと かえで
藤元 楓

岩国YMCA保健看護専門学校 保健看護学科卒業
山口県田布施町出身

どの大切さを意識するようになりまし。卒業1年目の看護師を対象にしたフォローアップ研修では、看護師として働く上で必要な技術の知識を改めて学び、実際の道具を用いて練習をすることができました。また、グループワークが多かったため、同期とコミュニケーションをとりながら友達をつくることもできました。何より刺激になったのは、危険予知トレーニング研修です。ある場面に潜む危険を見つけてグループで共有し合うことで、多くの視点から考えることができました。



藤元看護師に
インタビュー

Q 入職先を徳中に決めたきっかけを教えてください

A 看護学生の時、実習を重ねるうちに「思いやりのある看護」を大切にしたいという看護観が芽生えました。就職先を決める際に、徳中の看護部の理念が自分の目指す看護師像に合っていると共感して、徳中への入職を決めました。

Q 実際に働いてみて、徳中の魅力は何だと感じますか？

A 周南地域を支える地域基幹病院として、様々な専門職が在籍し、患者さんに必要な医療を提供できるところです。看護師をはじめとするスタッフが、患者さんに笑顔で接し、思いやりのある対応をしているところも魅力だと思います。

09:00 点滴



準備しておいた点滴を患者さんに投与していきます。患者さんの取り違えがないように、十分に確認してから行います。

8:30 出勤

受け持ち患者さんの情報収集を行い、点滴やその日の入院の準備を行います。朝礼時に連絡事項などを確認します。

09:30 患者さんのケア



寝たきりの方や手術後で介助が必要な患者さんに清拭を行います。まだベッドから起き上がって活動ができない患者さんがいれば、早期離床ができるように支援していきます。

藤井看護師の
ある日のいちにち

10:30

受け持ち患者さんの検温・
入院患者の受け入れ対応

受け持ち患者さんのバイタルサイン測定や状態観察、処置を行い、健康状態を確認します。入院された患者さんが安心して療養生活を始められるように、病棟の案内や入院生活の流れなどについて説明します。



11:45 昼休憩

あっという間に昼食タイム。感染管理の面から黙食が基本です。午後からの予定を確認しながら一息ついています。



12:45

看護記録・食事介助・
手術迎え

食事の介助や見守りが必要な患者さんに支援します。外科病棟では1日に5.6件手術があります。手術が終われば手術室に迎えにいき、全身状態の観察を行います。隙間時間に患者さんごとの看護計画に沿ってアセスメントしながら電子カルテに記録をします。退院調整が必要な患者さんには、チーム内でカンファレンスを行い、安心して退院ができるように調整します。



14:00 検温

受け持ち患者さんのこれまでの状態と比較しながら観察します。思いを聞き取ることで、患者さんに寄り添った看護に努めています。

15:30 点滴

個々に応じた点滴を投与します。また、翌日分の点滴の準備も行います。



16:30 申し送り

患者さんの状態を共有するためにその日のリーダーに言い伝えます。

17:15 退勤

記録などの残っている業務を行い、帰宅します。

男性看護師として
やりがいを感じる時

特に、寝たきりや身体が不自由な患者さんの介助、せん妄などで暴れる患者さんの対応を行う場面では、頼りにされていると感じます。なかには、男性看護師の方が接しやすいと思う男性患者さんもいらっしゃるため、様々な患者さんのニーズにお応えするためにも、男性看護師の活躍する場面は増えていると思います。



KIRAKIRA NURSE
02

外科(本館4階病棟)

入職5年目

ふじ い しょう や
藤井 祥也

大島看護専門学校卒業
山口県長門市出身

患者さんの術前・術後の看護や慢性期・終末期の看護を行っています。主な仕事内容は、バイタルサインの測定や手術前後の観察および支援、人工肛門造設患者さんの装具の選定・管理など。患者さんが安心して退院後の療養生活を送れるように、退院支援や調整も行っています。仕事で、常に心がけていることは疑問を持つことです。経験を重ねるうちに、教えられたことに加えて、自分が疑問に思うことを自己学習する機会が増えていきました。手術を受ける患者さんは何かしら不安を抱えています。その思いを汲み取り、寄り添い、必要に応じて説明することで、不安の軽減につながっていると思っています。手術後、患者さんから「ありがとう」と感謝の言葉をかけていただけた

私が目指す理想の看護師像は、患者さんに寄り添い、不安や恐怖心を和らげられる人です。その目標を実現するために、日頃からアセスメントをしっかりと行い、わからないことはそのまま放置せず、その都度自分で学び直し、先輩に確認しながら実施することで、知識や技術に磨きをかけています。また、患者さんやご家族の不安を感じ取ることを意識して、寄り添い、傾聴する看護を心がけています。

握るよう意識し、悩んでいる人がいれば声をかけたり相談に乗ったりしています。また、業務改善のためのクリニカルパスの作成や修正、人工肛門管理の手順書の作成なども、病棟スタッフが一丸となって取り組んでいます。入職して5年が過ぎ、中堅の立場になつてきたため、後輩スタッフのロールモデルになれるように日々努めています。特に力を入れているのが新人看護師への指導です。業務中は常に周りの状況を把握



ケアや処置を行いながら 新人のひとり立ちをサポート

新人看護師への指導も兼ねて、患者さんに清拭ケアを行います。常に笑顔を絶やさず、患者さんも笑顔になるようなケアを心がけています。安心感を与えるために、意識レベルの低い患者さんに対しては、必ず声をかけながら実施します。



多職種と連携して 患者さんを支える

管理栄養士さんとのカンファレンス。患者さんの栄養状態や補給方法などを確認します。筋肉量が減ると寝たきりの状態が長くなってしまうので、必要に応じてタンパク質を多く含む点滴剤を補充してもらうこともあります。



オフタイムの充実で 仕事へのモチベもUP!

休日は、家で映画を観たりお菓子を作ったりして過ごしています。ときには、友達と買い物や外食を楽しんだり、旅行でリフレッシュしたりと、充実した日々を過ごしています。



チームのリーダーとしてマネジメント力を発揮!

一通りの病棟業務ができるようになったらリーダー業務を任されるように。その日のメンバーによって持ち回りでリーダーを担当します。スタッフと患者さんの情報を共有しながら、臨機応変に対応します。

手作りのお弁当で 元気をチャージ!

疲れているとき以外は、出勤前にお弁当を作って持っていくようにしています。昼食はまだ黙食がキホン。



院内の本館1階にはドトールとローソン、本館11階にはスカイレストランが併設されています。職員は1割引で福利厚生も充実!



私の勤務時間

3交代勤務

日勤 8:30~17:15 (休憩60分) ● 準夜勤 15:15~0:00 (休憩60分) ● 深夜勤 0:00~8:45 (休憩60分)

2weeks Schedule

月	火	水	木	金	土	日
準夜	休日	深夜	日勤	日勤	休日	休日
月	火	水	木	金	土	日
日勤	準夜	休日	深夜	日勤	休日	日勤



KIRAKIRA NURSE 03

ICU(特定集中治療室)

入職5年目

やま もと

山本 はるな

中村女子高等学校 高等看護専攻科卒業
山口県周南市出身

ICUに配属されて5年目になります。ICUでは患者2名に対して看護師1名の看護体制のため、患者さんとそのご家族に密に関わる事ができるのが大きな魅力です。専門的で幅広い分野の知識が必要とされるため、毎日学ぶことが多いですが、その分、看護師としての誇りを持って働くことができます。

主な仕事は、毎時間のバイタルサインなどのモニタリングやフィジカルアセスメント、病態を含めたアセスメントなど。また、重篤な患者さんを支えるご家族に対する精神的なケアも大切にしています。

以前、重症な心臓疾患を患い、長期臥床により全身の筋肉が低下した患者さんを受け持った際、早い社会復帰を目指して、理学療法士と協

に在る安心感があります。困ったことがあると、先輩がすぐに気づいて声をかけてくださったり、こちらから相談しやすかったりと、風通しの良い環境です。

日々のリーダーや固定チームのリーダーとして、リーダーシップを求められる場面もあります。そのためメンバーの一人ひとりとこまめな情報共有を心がけています。

後輩への指導を通じて、自分に不足している知識や技術に気づくことも。お手本となれるように、その都度学び直し、先輩を見て指導法を学び、振り返りを行っています。

これからも患者さん主体のより良い看護を実現するために、幅広い専門知識を身につけて、患者さんと医療者をつなぐ心の架け橋になりたいと思っています。

働きやすさも魅力のひとつ。オープンフロアのため、勤務メンバーが常に近くにいる安心感があります。困ったことがあっても嬉しく、看護師になって良かったと心から思いました。

力してリハビリを継続しました。後日、その患者さんが回復してご自分の足で「退院できることになった」と挨拶に来られたときはとても嬉しく、看護師になって良かったと心から思いました。

時短勤務を活用して 仕事と育児を無理なく両立

育児時短勤務なので定時よりも早めにあがります。保育園に子どもを迎えに行ったり、夕食の買い物をして帰ったりしても、少しゆっくり過ごせるので、気持ちに余裕を持って働くことができます。



良好なコミュニケーションで チームワークを発揮！

気の合う仲間が多く、とても働きやすい環境です。仕事で困ったことが起きて悩むことがあったとしても、誰かに相談すれば大抵のことはすぐに解決できます。恵まれた環境だなとつくづく感じます。

残業や夜勤のときも安心！ 院内保育所「ひまわり保育園」

子どもは院内保育所で夜8時まで預かってもらえるので、残業になっても安心して働くことができます。週3日は24時間対応なので夜勤もOK。急な呼び出しの際もすぐに迎えに行けることができます。また、病児保育があるため、子どもが病気のときも安心して働けます（原則として前日までの予約が必要）。



私の勤務時間

育児時短勤務

日勤

● 9:00~15:45 ●
(休憩45分)

2weeks Schedule

月	火	水	木	金	土	日
日勤	日勤	日勤	日勤	日勤	休日	休日
月	火	水	木	金	土	日
日勤	日勤	日勤	日勤	日勤	休日	休日



周りの理解があるから 安心して働ける

退勤時間が近づくと周りのスタッフが「時間通りに帰れそう？」などと気遣ってくれるのでとてもありがたいです。

24時間
OK!

途中入園
OK!

病児OK!



KIRAKIRA NURSE 04

眼科・歯科口腔外科・皮膚科・婦人科
(東館5階病棟) 入職10年目

ちか ま ま い
近間 麻衣

広島国際大学 看護学部卒業
山口県周南市出身

仕事と育児の両立を図るために、子どもが3歳になるまでは時短勤務制度を利用して働くことにしました。母になったことで、より一層責任感が強くなり、時間内に集中して働くことができています。

働く上で支えになっているのは先輩や仲間の存在です。時間内に終わるように配慮してくださったり、勤務終了時間が近づくと「帰れる？」と声をかけて残っている仕事がないかを確認してくださったりと気にかけてもらえるので、子育てしながらも働きやすい環境です。また、子どもの急な発熱や体調不良で欠勤や早退をしても、周りのスタッフが温かくサポートしてくださるのでとてもありがたいです。忙しいときは、夫や実家の協力も得ながら、子どもとの時間を大切にしよう

かには寝たきりの患者さんいらっしゃるので、定期的な特浴を行ったリ、洗髪や手足浴等、清潔保持にも気を配ったりしながらケアを行っています。患者さんの入れ替わりが激しく、限られた時間内での処置を必要とされるため、確実に勤務時間内に業務を終えられるように心がけています。

日頃から大切にしているのは「患者さんに寄り添った看護」です。日々、多くの患者さんを受け持つため、こちらのペース配分でケアを行ってしまふこともあります。患者さんの話に最後までしっかりと耳を傾け、できる限り患者さんのご要望に沿った対応をすることで、安心・安全・安楽な入院生活を送れるようにサポートしています。

心がけています。

現在、眼科・口腔外科皮膚科のチームの一員として、手術前後の看護や日々の処置に携わっています。

眼科は手術件数が多く、皮膚科の患者さんは褥瘡などのケアを毎日必要とします。口腔外科や婦人科では、がん患者さんが長期入院となることもあります。



9月

新人一年目もいよいよ中盤！
日々の学びを大切に

○配属3ヶ月研修

・グループワーク

(困っていること、悩んでいること)
(ヒヤリ・ハットについて)

・吸入器・吸入指導について
・メンタルヘルスケアについて(2回目)



11月

一人でできることが
増えて忙しくも毎日が充実

○配属6ヶ月研修

・褥瘡予防対策について(2回目)

・栄養の基礎について

・グループワーク

(褒められて嬉しかったこと、やりがい感)

新人ナース
1年目！



1月

先輩からのポジティブ
フィードバックがうれしい！

○配属8ヶ月研修…理想の看護師像への課題の明確化

・医療安全研修(KYTの演習)

・グループワーク(理想の看護師像)

2月

組織の一員として
自分の役割を自覚！

○入職1年目…1年間の振り返り、2年目の課題

・固定チームナーシングについて

・災害看護と院内の防災対策

・グループワーク(リフレクション)

<OJTやナーシングスキルで実施>

グリセリン浣腸、摘便、

療養生活環境の調節管理、包帯法について



3月

この一年での学びを糧に、
さらにつぎのステップへ

○新人看護職員研修修了式



4月

看護師としての基礎と院内の概要を
しっかりレクチャー

○コミュニケーション研修

○採用時研修…看護の基本技術の演習・講義

・記録について①(電子カルテ操作方法)

・感染予防技術(標準予防策、無菌操作)

・ナーシングスキル

・褥瘡予防対策・ポジショニング(1回目)

・清潔・活動・休息援助技術

(おむつ交換、移乗・移送体験、体位変換)

・輸液ポンプの取り扱い

・与薬の技術①

(中心静脈内注射の管理、薬液準備、

皮下注射・筋肉内注射、点滴静脈内注射)

・安全確保の技術・安全管理

・心電図検査の技術演習

・症状・生体機能管理技術

(静脈血採血、検体の取り扱い)

・与薬の技術②

(インシュリンの種類、自己注射指導)

・認知症の原因疾患、症状、治療について

・呼吸・循環を整える技術

(口腔内・鼻腔内吸引、酸素吸入療法)

・食事援助技術(経管栄養法)

・ローテーション研修開始

・院内BLS講習会(心肺蘇生時の技術演習)



新人のときは、誰でも不安でいっぱい。

そんな新人ナースのみなさんと一緒に考え、楽しく学びながら、
一年間を通して看護能力を高めていくプログラムを実践しています。
看護師としての第一歩をしっかりフォローします。

5月

あつという間の1カ月間！
学びや反省点を振り返ろう

○ローテーション研修

・グループワーク(ローテで困っていること等)

・口腔ケアについて

・嚥下スクリーニングと食事介助

・薬剤等の管理(麻薬・毒薬・劇薬について)

・メンタルヘルスケアについて(1回目)

○看護部長との個人面談・看護観レポート・

業務目標作成・先輩ナースのメッセージ

○配属発表

6月

ローテーション研修で
看護スキルをアップ！

○配属1ヶ月研修

・与薬の技術③(輸血について)

・看護必要度について

・記録について②(アセスメントなど)

・グループワーク

(困っていること、悩んでいること)



トップリーダー
として邁進します！

LEVEL
4・5



心臓病センター
うおたに リカ
魚谷 里香
入職28年目

めざせ、看護の
エキスパート！

LEVEL
3



泌尿器科
(中央館5S病棟)
おおまち ゆうみ
大町 有実
入職8年目

達人看護師

リーダーシップを発揮し
指導的役割を担う

高度なスキルと総合的な専門力を兼ね備えた存在で、常に予測的な判断を行い質の高い看護を実践します。

LEVEL
UP★

認定看護師
特定行為研修(特定看護師)

中堅看護師

組織全体を見渡しなが
らリーダーシップを発揮できる

患者さんおよびご家族の地域におけるニーズを把握し、多職種と協働したケアを提供するため、看護実践のチームにおいてリーダーシップを発揮します。

LEVEL
UP★

院内認定看護師コース
訪問看護同行研修
ICLSインストラクター

ラダー・システムは、看護のスキルを段階的に身につけ、はし(ラダー)に登るように計画的にキャリアアップをめざす教育プログラムです。研修や発表会といったさまざまな機会を設け、看護師として必要な知識や技術、心構えを学び、一人ひとりが、将来の目標に向かって、着実に成長できるように支援します。

一歩一歩
確実に！

LEVEL
2



小児科
(東館4階病棟)
たかまつ めい
高松 芽生
入職3年目

1人前看護師

日常の看護を主体的に行い
チームメンバーとしての役割を果たす

地域医療および地域包括ケアチームの一員として、患者さんやそのご家族、地域の人々の生活上のニーズに応えるために、積極的な問題解決に取り組みます。

LEVEL
UP★

リーダー・サブリーダー
・院内リーダー会Ⅰ
・院内リーダー会Ⅱ

レベルアップ支援 ラダー・システム Ladder System

憧れの先輩を
目指そう！

LEVEL
0・1



救命救急センター
にのみや りょう
二宮 涼
入職2年目

新人看護師

チームの一員としての自覚をもち、指導のもと安全な看護を実践できる段階です。施設を利用される方はもちろん、チームメンバーに対しても丁寧な対応をすることが大切です。

独り立ち看護師

地域医療および地域包括ケアチームの一員として、看護職に求められる役割を考え、具体的な行動につなげることが求められます。

LEVEL
UP★

日々(日替り)リーダー
プリセプター

医療安全研修

医療の安全についての正しい知識を習得し、安全に対する意識を高めるため、年3回、ラダー別に研修を実施しています。

感染管理研修

全職員を対象にした研修で、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス、結核など最近の流行に応じた感染予防に関する知識や対処法を学びます。

山口県看護協会研修会館の利用

山口県看護協会では、看護職個人が看護の質の向上をめざし、主体的にキャリア開発をできるように、クリニカルラダー方式を採用した研修計画が立てられています。新人教育の一環として、看護倫理を学ぶ機会としても毎年利用しています。

看護研究発表会

各看護単位の研究グループで行っている取り組みを年1回発表し、外部講師から講評を受けています。研究・実績を学ぶことができ、日々実践している看護ケアが最善なものであるかを追求する姿勢を養うことができます。

オンデマンド研修

「ナースングスキル」によるオンライン講義のネット配信。インターネットを利用できる環境があれば(スマホも可)、著名な講師による最新の講義を24時間、365日いつでも受けることができる個人学習システムです。

看護単位(OJT)における学習



OJTとは「On the Job Training」の略で、日常業務を通じて、看護師として必要な技術や知識、心構えを学ぶ院内教育。現場で生かせるスキルと対応力が身につきます。

ICLSコース



医療従事者のための蘇生トレーニングコース。「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標に、蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

教育研修 & 発表会

看護スキルの向上
を幅広くサポートします！

集中ケア認定看護師

濱石 聖美 集中治療室



集中ケア認定看護師の資格取得をめざした理由は、患者さんの命を救い、重症化予防や早期回復支援のためにスキルアップしたい、自ら訴えることのできない患者さんの変化を見逃さず、その瞬間

にベストなケアを提供したいと考えたからです。

資格取得を決めてから試験を受けるまでの準備期間はおよそ2年間。専門分野の勉強だけでなく、コミュニケーションや指導など、さまざまな分野のことを学ぶ必要があるため、日々のケアの実践全てが資格取得のための勉強につながっています。

慢性疾患看護 専門看護師

松村 直子 地域連携・医療相談室



糖尿病や慢性腎臓病の患者さんの看護に長く携わる中で、慢性疾患の患者さんやそのご家族を支える力をより深く身につけたいと考えて資格取得を目指しました。前職を退職して大学院に通い、2年間学業に専念。臨床現場で起きていることを科学的根拠に基づ

いて深くアセスメントできる力が身について、研究や実習を通じて学内外の人々と連携することで調整力が高められたと実感しています。現在所属する地域連携・医療相談室では、退院支援から外来での療養支援まで、幅広いフェーズで患者さんと関わっています。今後も、専門看護師としての役割を發揮し、活動の幅を広げていきたいと思っています。

救急看護
認定看護師守田 以津美
救命救急センター

限られた時間と情報のなかで重症

度・緊急度を即座に判断し、病態に応じた看護を行い、患者さんやご家族の不安と苦痛を緩和することを役割としています。救急看護の対象は、すべての疾患、すべての年齢の患者さんであるため、災害時における急性期の医療ニーズにも対応します。また、心肺蘇生講習や市民公開講座などを行い、救命技術の普及にも努めています。

がん薬物
療法看護
認定看護師國次 葉月
外来化学療法室

患者さんに安全

で効果的な化学療法を受けていただけるように、専門的な知識と技術を生かしてサポートしています。また、治療の副作用が最小限になるようにマネジメントして、患者さんが社会生活を送りながら治療を継続できるようにお手伝いしています。多くの患者さんを支援できるように医師や看護師、薬剤師と連携することで、がん薬物療法看護の質の向上にも努めています。

認知症看護
認定看護師重岡 和江
認知症ケアチーム

認知症の方のう

まく言葉にできない思いや苦痛を受け止め、多職種と連携しながら安心・安楽な入院生活を支援しています。大切にしているのは、認知症の方の「できる力」に目を向けて一人の人として尊重すること。退院支援やご家族への支援のほか、医療スタッフの認知症ケアに関する困りごとを解決するのも役割の一つです。また、認知症ケアチームの一員として研修会にも参加しています。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

金子 里美 摂食嚥下サポートチーム



口から食べることで患者さんは、病気からの回復が早いと実感しています。そのため、急性期から患者さんの「食べたい」、ご家族の「食べさせてあげたい」という気持ちに寄り添い、安心・安全な経口摂取を支援しています。

摂食嚥下サポートチームでは、医師、栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士等、多職種で協働し、低栄養、脱水、誤嚥や窒息予防のリスク管理をしながら食べることを支えています。

患者さんのできること（強み）に目を向けて、その人にとっての幸せな生活や生きる力へとつなげていきたいと思っています。

手術看護認定看護師

藤田 友里江 手術室



日々の手術看護はもちろんのこと、手術室スタッフの指導にも携わり、部署全体での手術看護の質の向上に努めています。また、部署内外において、疼痛管理などの手術看護に関連する情報も提供しています。

手術は、患者さんやご家族にとって苦痛や不安を伴う大きな出来事です。患者さんの多くは全身麻酔下であり、ご自身で苦痛を訴えることができない状況です。局所麻酔の患者さんであっても、緊張もあって思いを口にできないこともあります。そうした患者さんの声にできない思いを汲み取り、寄り添った看護を心がけています。

看護師として専門分野のスキルを深めたい。

そんな想いを叶えるために、徳中では資格取得支援はもちろん、研修受講、配置転換など

一人ひとりに合わせた多角的なサポートを実施しています。

専門資格を持つ看護師が多数在籍しています。

認定看護師
専門看護師

16名

特定看護師

24名

認定システム

認定看護師

専門看護師

日本国の看護師免許を保有

実務研修5年以上
(うち3年以上は専門看護
分野の実務)認定看護師
教育課程修了

認定審査 (筆記試験)

認定看護師 登録

認定看護師

1. 看護系大学院修士課程
修了者で専門看護師教
育課程基準の所定の単
位を取得している2. 実務研修5年以上
(うち3年以上は専門看護
分野の実務)

認定審査 (書類審査、筆記試験)

専門看護師 登録

専門看護師

徳中のサポート

研修に必要な費用、研修時の交通費や
滞在費などもサポート。研修中の給与も支給

carrier up 01

「認定看護師」とは…

ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識をもち、その分野の専門家として水準の高い看護実践ができると認定された看護師のことです。現在、特定されている分野は、救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケアなどの21分野です。看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献しています。

carrier up 02

「専門看護師」とは…

複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族および集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深め、その分野の専門家として水準の高い看護実践ができると認定された看護師のことです。現在、特定されている分野は、がん看護、精神看護、慢性疾患看護などの13分野です。看護現場において、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の6つの役割を果たすことにより、保健医療福祉の発展に貢献し、併せて看護学の向上を図ることを目的としています。

ス
ペ
シ
ヤ
リ
テ
ィ
な
！
ナ
ー
ス
に
な
り
た
い
！Carrie
up!
キャリアアップ!認定
看護師専門
看護師特定
看護師

特典看護師への道のり

carrier up 03



JCHO本部は「特定行為に係わる看護師の研修制度(特定行為研修)」の指定研修機関として厚生労働省より指定されており、当院も研修実施施設の1つとなっています。

徳中のサポート

- ・eラーニングは自分の時間に合わせて受講が可能
- ・演習や実習は勤務時間内に院内での実施が可能

働きながら研修を受けられる
恵まれた環境です

当院では、特定行為研修を修了した看護師が、医師の指示に基づいた手順書に準じて、診療の補助を行っています。

特定行為研修は、3～5年以上の実務経験があれば、認定看護師以外でも受講が可能です。特定行為の区分の内容や研修期間は研修施設によって異なります。JCHOの連携施設である徳中の場合は2年を要します。当院は、県内でも数少ない指定研修機関の一つ。働きながら学べるため、時間や費用の面でも負担を軽減できます。

研修1年目の共通科目はeラーニングによる自学方式です。2年目の実習は、自分が所属する施設で受けることができます。実際の臨床現場

で指示を出す医師が「先生」として指導する上、一緒に学ぶ看護師も顔見知りのため、安心して学ぶことができます。

常に患者さんのそばにいる看護師が、特定行為を実施することで、医師の判断を待つことなく、患者さんの状態に応じて適切な医療をタイムリーに提供することが可能になります。チーム医療を支え、より質の高い医療を提供するために、特定看護師の活躍が期待されています。

看護師として活躍の場を広げたい

廣戸 真喜子 特定行為研修修了

これまで学んできた看護の視点と、研修で学ぶ医学的視点の両方から、患者さんにアプローチできること、当院で実技研修を受けられることに惹かれて特定行為研修を受講しました。

講義や院内実習を受ける際には、勤務調整をしていただいたおかげで、看護師として働きながら円滑に研修を受けることができました。また、各診療科の医師には時間外や休日にも講義をしていただき、実習時には各外来や病棟のスタッフの方々にも協力していただきました。周

りの理解や協力がなければ、この研修は受けられなかったと思います。

研修を受けていく中で、技術や知識を習得することが目的ではなく、その技術や知識を活かして、看護師として患者さんやご家族に還元できることは何かを深く考えるようになりました。

私が所属している救急外来は、新生児から高齢者までの幅広い年代の患者さんと診療科が対象です。点滴や気道確保などの救急医療行為が多いことが特徴ですが、患者さんだけでなく、突然の搬送に戸惑うご家族の心情に寄り添い、心理的なケアをすることも大切な仕事となるため、日頃から広い視野を持つように心がけています。

当院には、特定行為だけでなく、様々な資格を取得した看護師がたくさんいます。ぜひ、共に学び、共に働きましょう！

「特定看護師」とは…

特定看護師とは、「特定行為研修」を修了した看護師のことです。特定行為は診療の補助であり、看護師が医師の手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力、並びに高度かつ専門的な知識及び技術が特に必要とされます。

現在、特定されているのは38行為。指定研修機関において特定行為研修を受けた看護師は、患者の状態にタイムリーに対応できるようになります。また、患者さんやご家族の立場に立った分かりやすい説明を行うことで、治療と生活の両面からの支援を促進します。



新生児集中ケア認定看護師

石田 裕子 NICU(新生児集中治療室)

新生児集中ケア認定看護師は、早産児や病気をもった新生児の重症化を回避するため、最新の知識や技術をもとに看護を行う看護師です。言葉で気持ちを伝えることが難しい新生児が発するさまざまなサインを読み取り、よりよい

成長へつなげるよう、そして、我が子の入院で精神的負担が大きいご両親に寄り添い、円滑に親子関係を確立できるように支援しています。

がん性疼痛看護認定看護師

桑田 理恵 がん診療支援部

がんの痛みやがん性疼痛に用いる鎮痛薬とその薬理作用を理解し、一人ひとりに合った疼痛マネジメントとケアを行っています。がんの患者さんが体験する痛みは、身体と心に大きな苦痛をもたらします。その痛みがやわらぐことで治療がよい方向に進むように、根治治療が困難でも苦痛が緩和され、その人らしい生活を送れるようにお手伝いさせていただいています。



感染管理認定看護師

(右) 松崎 さとみ

感染防止対策室

主な仕事の内容は、病院感染の調査、感染予防に関する情報提供、職員教育などです。患者さんやご家族、職員を院内感染から守るため、組織的な取り組みを行っています。感染管理

認定看護師、医師、臨床検査技士など多職種で構成される院内感染対策チームと協力し、対策を推進しています。

(中央) 上山 ルリ 感染防止対策

病院を利用する患者さんやご家族への感染対策は、職員一人ひとりの意識や行動が重要です。少しでも感染管理に興味をもつスタッフが増えるように実践可能な対策を考え、病院全体を感染から守るため多職種と活動をしています。

(左) 松原 典子 手術室

感染管理とは、患者さんや職員、病院に出入りするすべての人を目に見えない感染から守る活動で、院内ラウンドやサーベイランス(調査・集計・分析)を実施しています。感染対策は一人で行うものではありません。職員全員がその重要性を理解して取り組むことをめざし、活動しています。



緩和ケア認定看護師

佐々木 文子 緩和ケア病棟

私たちの役割は、がんをはじめとする生命を脅かす病気に伴う身体や心のつらさ、生活のつらさをやわらげ、患者さんが病氣と向き合い、積極的に生きていけるように支援していくことです。そのため、さまざまな苦痛をもつ患者さん

の人生に関心をもち、生活と必要な医療とケアを結びつけ、患者さんご家族のQOLを高められるようにチームでサポートしています。



糖尿病看護認定看護師

實近 彩子 血液・内分泌内科外来

糖尿病は、日々の生活のなかで自己管理が必要な慢性疾患です。そのため、長い療養生活のなかで悩みや疑問が生じることも多いと思います。そんな患者さんのために、糖尿病に関する知識や技術を提供するとともに、栄養士や薬剤師など他部門スタッフと協働し、患者さんが糖尿病とうまくつき合いながら、その人らしい療養生活を送れるようにサポートしています。



皮膚・排泄ケア認定看護師

(右) 原田 清美

外科外来

創傷ケアやストーマケア、失禁ケアなどの専門領域に対して、質の高い看護サービスを提供し、患者さんのQOLの向上に努めています。具体的

には、褥瘡ケアや予防のための定期的な院内ラウンド、患者さんのケア、看護師への相談対応や指導などを行っています。また、地域との連携としてオストメイトの会に定期的に参加しています。

(左) 秋元 夕希 褥瘡ケアチーム

ストーマ外来では、オストメイトの方のストーマや生活に関する相談を受けて、ストーマ装具の選択やより良いケア方法を指導しています。また、褥瘡ケアチームの一員でもあるので、褥瘡回診に同行して褥瘡ケアや指導を行っています。患者さんやスタッフと共に考え、学び、より良いケアを提供することを心掛けています。

CHECK 01 2024年4月 新棟『中央館』の一部が完成いたしました！

当院の西館棟および南館棟は築45年が経過し、増改築を繰り返してきましたが、建物の老朽化や高度化・多様化する医療ニーズへの対応が課題となっていました。そこで、「すべての人に優しくわかりやすい機能的な病院づくりと、災害拠点としての機能充実」を設計コンセプトに、令和3年から新棟建設工事を進めてまいりました。このたび、ようやく1期工事が完了し、一般診療外来や検査室、救命救急センター、病棟の一部の運用がスタートしました。患者さんはもちろん、看護師をはじめとする医療スタッフも快適に過ごせる、明るく清潔な空間となっています。



CHECK 02 2025年 新棟の建設工事がすべて完了予定です！

続くII期工事の完了は令和7年春を予定しています。明るいエントランスホールを中心に、スムーズな動線やわかりやすい案内表示、快適な療養環境の提供、災害時にも利用できる広いスペースを確保し、災害拠点病院としての機能の充実を図ります。また、中央には地域連携・医療相談室を配置し、より地域に開かれた病院を目指します。そのほか、どなたでもご利用いただける図書室、病気の予防や早期発見に特化した健診センターを新設予定です。



CHECK 03 都会的で洗練された複合施設 中心商店街に「TOKUYAMA DECK」誕生!!

2024年4月17日、周南市中心商店街に周南市の新たなランドマーク「TOKUYAMA DECK（徳山デッキ）」が誕生しました！ 徳山デッキは、ココロとカラダのウェルネスをテーマに、商業・宿泊・居住の3つのエリアに分かれた複合施設で、飲食店やアパレルショップ、ホテルなどで構成されています。JR徳山駅北口に直結した徳山駅前賑わい交流施設と徳山デッキをつなぐ緑豊かな連絡通路（屋上庭園）では、様々なイベントが開催され、まちに新たな賑わいを生み出します。

副看護部長
藤田 紀美代



副看護部長
國次 葉月



看護部長
西村 綾子



All the best for your future!

これから
看護師・助産師になる
みなさんへ

自分磨きのチャンスが
たくさんありますよ！



みんながいると
もっと頑張れる！

一緒に
輝きましょう！



看護師・助産師という素晴らしい専門職を選ばれたみなさん、未来の自分の姿が見えますか？ やりがいのある未来に向かって、このJCHO徳山中央病院にぜひ飛び込んでください。

私たち看護部は、「おもいやりのある、安全で安心できる良質な看護を提供します」を理念に、温かい心で患者さんのからだどころを見守り、支えていくことを目標にしています。

また、職員一人ひとりがやりがいを感じ、いきいきと働き続けることができる組織でありたいと考えています。もちろんあなたの周りにはサポートしてくれる先輩たちがたくさんいるでしょう。

自分が描いている看護師・助産師像をめざして自分を信じ、一緒に未来を切り開いていきましょう。

JCHO徳山中央病院 看護部長

西村 綾子



■ 病院の理念 ■

安全で適切な医療を提供し地域社会に貢献します

■ 基本方針 ■

1. 人間としての尊厳を守り、敬愛の心を持って全人的医療を行います
2. 臨床研究・医学教育に努め、医学の発展・普及に貢献します
3. 関連機関と連携し、地域の健康と福祉の増進に努めます

■ 病院長 ■

沼 文隆

■ 許可病床数 ■

一般病床507床（救命救急センター25床、特定集中治療室10床、
新生児特定集中治療室12床、緩和ケア病棟25床）、第二種感染症病床12床

■ 職員数 ■

1,260名（令和5年4月1日現在、非常勤職員含む）

■ 標榜診療科 ■

内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病内分泌内科
呼吸器内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、脳神経外科、整形外科
リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科放
射線科、麻酔科、ペインクリニック内科、心臓血管外科、歯科、歯科口腔外科緩
和ケア内科、精神科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査科



独立行政法人地域医療機能推進機構

徳山中央病院

お問い合わせは、総務企画課／採用担当まで **0834.28.4411**（代表）
〒745-0822 山口県周南市孝田町1番1号 <https://tokuyama.jcho.go.jp/> e-mail/soumu@tokuyama.jcho.go.jp